

文教厚生常任委員会

井村保裕 委員長

一般廃棄物（プラスチック類） 近隣自治体処理状況視察を決定

本委員会は、今期定例
会に付託された議案第
三十五号の、専決処分
承認について（平成十九
年度小松島市一般会計補
正予算（第四号））第一
表 歳入歳出のうち、第
三款 民生費、第四款
衛生費、第十款 教育費
について審査し、いづれ
も原案のとおり可決すべ
きものと決定した。

●視察計画

運用を見守るべ
きと判断し、不
採択とした。

文教厚生常任
委員会は、小松
島市の一般廃棄
物（プラスチック
類）処理業務
委託契約が来年
の六月に終了す
るが、今後どう
あるべきかを審査するた
め、七月下旬に近隣自治
体（徳島市・阿南市）の
廃プラスチック中間処理
施設の状況を視察する予
定である。視察結果につ
いては、次回の議会だよ
りにて報告する。

また、三月定例会から
継続審査であった、「原
爆症認定制度の抜本的改
善を求める意見書の提
出」の件についての陳情
一件を審査したが、四月
に新認定基準が設定され
その新認定制度が運用さ
れてまだ二ヵ月余りとい
うことで、しばらくの間



委員会風景



議案について審査し、い
ずれも原案のとおり可決
すべきものと決した。

○小松島市営住宅管理条例
例の一部を改正する条
例については、地域社
会からの暴力団員排除
の一環として「暴力団
員でないこと」を市営
住宅の入居者資格とし
て新たに加えることも
に、入居後についても、
暴力団員であることが
判明した場合は、速や
かな明け渡しを義務づ
ける等の規定を設ける
ものである。



委員会風景

○小松島市公共下水道雨
水ポンプ場の設置及び
管理に関する条例の一
部を改正する条例につ
いては、「勢合雨水ポ
ンプ場」が完成したの
で、設置条例に追加す
るものである。

●サテライトについて

小松島競輪専用場外車券
発売場（サテライト）の
設置計画の概要

一 設置者
（株）セイワ

二 設置場所
徳島市東沖洲三丁目八番地

三 構造及び設置の状況
施設面積 〃
七千八百八十二㎡

二階建て
延床面積 〃

二千七百五十六㎡

駐車場 〃約百八十台

四 車券発売金額の予想
及び算出基礎

一日当たり車券売上額

〃八百七十万円、年間

売上額 〃三十億円、推

定入場者数（前売利用

客含む） 〃一日平均六

百二十人、一人平均推

定購入金額 〃一万四千

円



勢合雨水ポンプ場

平成 20 年 6 月定例会発言通告

発言者名	件名	要旨
池淵 彰	1 幼稚園・小中学校における教育振興計画について	助成制度等について
		地震防災特別措置法改正に伴う公立学校施設耐震化促進について
	2 防災対策について	幼・小中学校の再編等の将来へ向けた学校づくり計画について 自主防災組織について
3 公共下水道事業について	事業計画の認可変更について	
	金磯地区の浸水対策について	
北野 恒男	1 水道施設耐震化事業の進捗状況について	事務執行する上での財政措置と財政見直しについて
		田浦浄水場の耐震化事業について
	2 ふるさと納税制度について	石綿管更新事業について 制度の概要について 市の取り組み状況, 活用する事業について 寄附金獲得に向けての市の対応について
天羽 篤	1 小・中学校の耐震改修について	耐震改修の具体計画は 建て替えと補強, どちらを選択するのか
		2 廃プラスチック処理委託について
	3 競輪サテライト計画について	進出について問題は 採算の見通しは
井村 保裕	1 港の活性化と軍艦の寄港について	アメリカ軍艦の寄港について 港の活性化と経済効果について 今後の取り組みについて
		2 小・中学校に関する件について
	3 災害対策と意識改革について	防災講座の充実について 防災士について 今後の自主防災について
宝 覚	1 食料自給率の向上(食と農)について	
	2 米軍艦寄港について	
	3 後期高齢者医療制度について	
米崎 孝	1 赤石豊栄住宅の跡地について	用途地域・境界確定・地積・進入路 近隣との高低・排水・その他
大木 進	1 長寿医療制度について	制度について 保険料について
高木 幸次	1 阿南市・小松島市を流れる目佐川問題について	目佐川のしゅんせつ問題について
		2 那賀川北岸用水問題について
	3 学校施設耐震問題について	学校施設倒壊問題について

地震防災特別措置法改正に伴い
学校施設耐震化策定計画を急げ

みらいの会 池淵 彰 議員

答 今年中に改築策定計画をする



水道施設耐震化事業の進捗状況は

みらいの会 北野 恒男 議員

答 最重要施設である田浦浄水場の耐震化を優先的に着手





耐震補強をしている徳島市津田中学校校舎

池淵 今国会で「地震防災対策特別措置法の一部改正をする法案」が可決され、耐震化補強・改築の、国の補助率が大幅に嵩上げされ、まず本市では、耐震化診断を行わなければならない。その診断結果をもとに、改正された法律に適合していくものである。過去の答弁で、小松島中学校二号棟の改築と並行した形で学校施設の全体の改築策定計画を策定していくとある。現在の計画の状況は、

市長 現在、策定はしていないが、財政状況の厳しい中、やはり精査しなければならぬ。今年中に策定する。

池淵 法律が改正され、近隣市が加速して耐震化を進める中で、本市だけおくれをとることになると、やはり財政格差が教育行政の格差を生むことになる。これは、あつてはならないと考える。

幼・小・中学校の耐震化の進捗

池淵 現在の進捗した状況と、今後の時期も含めた計画策定内容は、

教育長 主たる検討内容は、小学校、中学校の望ましい規模、通学距離。小・中学校数。小・中一貫校について。地域社会との関係についてである。八月下旬を目途に、提言書を市長へ提出をする。今後を考えると、小・中学校について統廃合が問題となる。

池淵 耐震化へ向けての改築も、今後、これに含まれる課題であると考ええる。

幼稚園における母子家庭の減免措置を

池淵 保育園は、母子家庭に減免措置があるが、幼稚園にはない。減免措置をするべきでは。

教育長 学校教育法の中で、母子家庭に特別な経済的な支援は述べられていない。

池淵 保育園ニーズが高い部分があつて、預かり保育を実施してきたにも関わらず、生活弱者の方々に平等な選択肢を与えていない。本市の条例改正を求める。

市長 認定こども園などの施策が進められていく中で、今後検討していく。

自主防災組織の連合会組織の設立を

池淵 十二月の定例会において、質問したが、早急な自主防災組織の連携を図る、情報共有ができる連合組織の設立を。

消防長 七月の中旬までに準備会議をして、その中で各地元会長の意見を聞く中で、連合会組織を八月上旬には設立する。

北野 水道施設の耐震化事業計画の概要は、

水道課長 事業期間を二十年と定め、広域的減断水の影響が最も大きい箇所から、五年ごとの四ステップに分け、耐震性の確保、機能性の向上を図る。

北野 田浦浄水場の工事は、計画より遅れているが、

水道課長 田浦浄水場の工事進捗率は、発注額ベースで

三三％、今年中に一千三百五十トン容量のステンレス製浄水池を完成させる予定。

北野 石綿管の更新は五カ年で終える計画となつているが、

水道課長 石綿管の更新は、平成十九年度末の残存延長は約十一・五

キロメートルで、全体延長に占める残存率は約四・五％、平成二十三年度に更新を終えるよう努める。

ふるさと納税制度の取り組みの状況は

北野 「ふるさと納税制度」が五月一日に正式にスタートしたが、現在の取り組みは、基金創設の

考えは、

総務部長 ふるさと納税プロジェクトチームを設置し、寄附金獲得に取り組んでいる。活用する事業は、ふるさとを援助する事業、ふるさとの原風景を守る事業、ふるさとの人材を育てる事業、ふるさと出身者を支援する事業、ふるさと大使育成事業を設定、基金の創設は考えていない。

北野 寄附者の獲得に当たり、PR面や工夫等。 **総務部長** 五十万円の高額寄附者は、市制施行記念日に表彰、一万円以上の寄附者は、小松島市の季節の特産品を進呈。小松島市への善意が多く集まるよう周知等工夫していく。

北野 「ふるさと納税制度」に対する気持ちは。 **市長** 全国で御活躍されている、小松島にゆかりのある皆様の応援をいただき、ふるさと小松島のさらなる発展を確かなものにした。



田浦浄水場では管理棟や浄水池などを耐震化

廃プラスチック処理委託料 二十万円(一トン当たり)は高すぎる

日本共産党 天羽 篤 議員

答 業務内容が異なるから 高くなっている

天羽 廃プラスチック処理委託料は、平成十一年、一トン当たり二十万円で小松島リサイクルセンターと契約している。当時の相場、一トン当たり八万円と比べて高すぎるのではないかと。

市民環境部長 本市は他市と違い、廃プラを減溶固化して最終処分場に投棄する方法をとっている。業務内容が異なっているから、金額の大きな差になっている。



小松島リサイクルセンター

天羽 特別な処



理をしていながら、その積算根拠を明らかにしてほしい。電気を何キロワット使うから光熱費が幾らになるという積算根拠を示してほしい。

市長 委託料の算定がいかに正確かということに

競輪サテライト設置 地元協議会の同意は

市長 値下げ交渉といたことではなく、財政が厳しいので減額をお願いした。その結果、年間三百六十万円の減額ができた。

天羽 民間により競輪サテライト(専用場外車券発売場)を徳島市沖洲に設置する計画がある。地元協議会の同意が必要でないのか。

小・中学校の給食費は値上げするのか

みらいの会 井村 保裕 議員

答 九月一日から、 学校給食費を値上げする

井村 徳島市や鳴門市では、既に給食費を値上げしているが、小松島市も値上げするのか。

教育長 現状では小学生二百七十円、中学生三百円だが、九月一日より、それぞれ一食につき三十円の値上げをする。既に学校給食委員会で承認されている。

井村 食育についてはどう取り組んでいるのか。
教育長 栄養教諭を中心として、学校栄養職員、家庭科教諭が、学校食育推進委員会を立ち上げ、各学校、地域に応じて食育について取り組んでいる。

井村 文科省の学校支援

港の活性化と 軍艦の寄港について

産業建設部長 フリ

答 五月二十一日

井村 五月二十一日にアメリカ海軍の軍艦が入港した経緯と目的は。

産業建設部長 フリ

地域本部事業について、こうした体制づくりが、子どもたちの安心、安全で、集中して勉強に打ち込める環境づくりにつながるのではないかと。

教育長 この事業は本年度から始める事業だが、他の市町村の実施状況を調査しながら、研究、検討を進めていきたい。



赤石港に入港した米軍フリゲート艦